

会長就任のご挨拶

この度、山内重徳前会長のあとを受けて、会長に就任することになりました。責任の重さを痛感しつつ、微力ながらも、熊井真次、相浦 直両副会長と力を合わせて、軽金属学会の一層の発展のために全力を尽くす所存です。会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、軽金属学会は2011年に60周年を迎え、同年に一般社団法人軽金属学会として再出発しました。アルミニウム・マグネシウム・チタンを対象に、軽金属に特化した学術・技術そして工業の発展を目的に、講演大会や会誌刊行など広範な活動を60余年に亘って続けてきました。この実績は、世界にも類の無いオンリーワンであり、まさに世界に誇れる本学会の「強み」と言えます。この素晴らしい本学会の発展は、これまで関与された諸先輩方、関係者のご尽力の賜物と敬意を表します。また、この実績が、産学官ならびに老若男女がバランスよく集う絶妙な会員構成に裏付けられているのも、本学会の大きな「強み」です。さらに、アルミニウム業界を始めとする維持会員の強いご支援に支えられていることも言うに及びません。このように実績と伝統ある軽金属学会を、さらに魅力ある学会に発展させることは容易ではありません。しかし、今まで培われた「強み」の裏に隠れている「弱み」を着実に克服して前進させることが、次代に繋ぐ責務と考えています。

3年前、副会長を務めました際、「軽金属学会の強みと弱み」を分析整理する作業をさせて頂き、本学会の「強みと弱み」が浮き彫りになりました。そして、この2年間、山内前会長の下、健全な財政基盤を目指した維持会員の拡大、組織のスリム化、経費の削減などに積極的に取り組まれました。また、支部活動の基盤強化やアジア地域を中心とした国際交流活動も積極的に展開されて、国内外での活動基盤づくりにも取り組まれました。これらの財政基盤、活動基盤を健全化する取組みを、今後も継続して推進することはもちろんのことです。それに加えて、70周年、80周年を見据えた軽金属学会の新たな展開に道を開くことも、重要な課題と認識しています。10年後、20年後にあるべき軽金属学会の姿をイメージし、そこからバックキャストして今やるべきことを明確にする作業が必要です。

本学会の「強み」の裏に隠れている「弱み」の一つは、活動の対象分野が硬直化して伸び代が少なくなりつつある点です。軽金属の素材開発に関わる基礎研究から製造技術に至る分野では、活発に技術展開され多大な成果が蓄積されてきました。一方、その裏には周辺技術や利用技術への活動展開において「弱み」が見られます。今なお重要な社会課題である構造部材の軽量化要求は、軽量化材料の個別開発からマルチマテリアルの適用へと動いています。そして、例えば異材接合など多分野の境界に位置する新たな技術展開がクローズアップされています。このような境界分野の技術展開では、他分野に先駆けて主導権を持つことが将来展望を大きく左右します。すなわち、時流を先取りするために、軽金属の周辺に位置する関連分野にも迅速に対応できる学会の体質を備える必要があります。

対象分野の底辺を拡げることは、会員数の拡大のためにも重要です。対象分野が硬直化することは、学会に関係する人材や企業の数も自ずと限定され、入会を勧誘できる母数が限られることを意味します。まずは、学会の間口を上げた上で、未加入の人材・企業を勧誘する会員増強策が必要です。会員増強策については、学会の事業活動を魅力的にすることに尽きると思います。魅力ある講演大会、魅力ある会誌刊行、魅力ある企画行事、魅力ある研究会活動、魅力ある支部活動、その中で次代に繋ぐ人材育成、いずれも従来から様々に議論されてきました。改めて、総合計画委員会をはじめ常設委員会で議論して頂き、次代を任せる若い会員の意見にも傾聴して、各事業活動における「弱み」を明確にしたいと思います。そして、会員のみならず非会員から見て、さらに魅力のある事業活動を展開できるよう努力します。

60余年の歴史の中で、時代が大きく変化しています。大学の独立法人化によって、研究教育の場に競争原理が導入されました。世界のアルミニウム業界の再編に続いて、国内でも再編の動きが活発化しています。長く「ナノ」「IT」が前面に出ていました科学技術政策では、「基盤技術」「革新的構造材料」の懐かしい言葉が戻っています。そんな背景の下、軽金属に特化したオンリーワンの「強み」を堅持しつつ、柔軟な切り口と発想によって「弱み」を克服し、新しい時代の軽金属学会に脱皮することが求められます。会員のための学会であることは当然ですが、社会が必要とする学会、社会から見て魅力ある学会であることが重要です。社会が軽金属学会に何を求めているかをしっかりと見極め、迅速に発信することによって、本学会のプレゼンスの向上を図ることが必要です。そのために、先頭に立って取り組んでいく所存でございます。会員の皆様の忌憚らないご意見をお寄せいただくとともに、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人軽金属学会
会長 金武 直幸